

	<p>①各団の活動報告</p> <p>春日井第5団 江南第3団 日進第2団 春日井第4団</p>		<p>第13号平成29年8月1日発行</p> <p>日本ボーイスカウト愛知連盟 尾張東地区 組織拡充委員会 広報部会 編集・発行 編集責任者 中村 一徳</p>
---	--	--	--

◇ 「カブ隊御在所ハイキング」

春日井第5団
カブ隊長 伊藤千絵

下見しながら、スカウトがどうやって上って行くだろうと想像し、本番を迎えた御在所岳。予想通り、一番最後でへとへとになりながら頂上まで来たのは私で、スカウト達は元気いっぱいでした。

危険な場所もいくつかある為心配でしたが、他のハイキングの方々に声をかけられながら、頑張っていました。

無事に活動を終わられてよかったです。



春日井第5団
カブ隊 鈴木元太

1合目からじぞー石まではきつくつらかった。途中きけん個所があったがこわくはなくおもしろかった。

でも上に着いたときはうれしかったが、道路はほそうされているし、レーダー・リフト・ロープウェイ等、山の頂上の景色をうしなっていた。でも景色が良くいろいろ見えたので良かった。

春日井第5団
カブ隊 橋本綾

初めてございしょを登ってすごくつかれたけど、頂上で登ったかいがあったなと思いました。

初めて見たもの、初めて分かったこと、いっぱいあってとてもたのしかったです。

最後の急な所で、登っている人が「ガンバッテ」とはげましてくれて、とてもうれしくきもちが良かったです。



春日井第5団
カブ隊 原田信繁

つかれたけど5合目とか頂上では「やっと着いた」と思い楽しかったです。

岩があるところもおもしろくて、また登りたいと思いました。

春日井第5団
カブ隊副長 大森良彦

1合目から登ったのは初めてでした。登るにつれて、岩につかまりへばり付くように登り、終わりにつれてそのつらさが増し、とても疲れたハイキングでした。

山頂では風が気持ちよく、疲れが吹き飛ばかと思いました。ムリでした。



春日井第5団
カブ副長 鈴木達也

御在所岳に登りました。

天候にも恵まれ気持ち良いハイキングとなりました。登りの早い子、遅い子、岩場で慎重な子、好奇心旺盛でドンドン行きたがる小、でも誰も弱音を吐かず最後までがんばり、全員で登りきることが出来ました。

山頂にある岩にしがみつき、まだまだいけるよとばかりによじ登る姿に、山の楽しみを見つけてくれたかな？と一緒に登ったことをうれしく思いました。

将来オリンピックに出れる選手になるかな？



春日井第5団
カブ隊DL 橋本清

初めて御在所に登ったが、思いのほか岩場が多く、大変きつかった。

皆さん元気な人が多く、自分の体力のなさ

がしみじみ分かった。

急な岩場もあったが、みんなけがもなく山頂まで行けてよかったです。

元気もよく1日楽しいハイキングでした。

春日井第5団
ビーバー隊副長 原田直美

以前御在所岳に来たことがあったので少々余裕だと思っていましたが、思った以上に厳しい山でした。

自分の年齢もあり、8合目より上はあしがあがらなくなってきましたが、子供たちが元気に登っている以上、負けられないと思って頑張りました。

山頂は、冷蔵庫の中に入った様な涼しさと爽やかさでとても気持ちよかったです。

天気が良かったので、景色もとてもよく見えて琵琶湖もみえました。



◇ 「5月14日」

江南第3団
カブ隊 こむろえいた

ぼくは今日カブスカウトでこういうことを学びました。そして思ったことは、いろいろなものやいろいろなたてもものやいろいろなにおいやいろいろなあじやいろいろな色があるんだなあと思いました。

今日はいろいろなことが学べたのでよかったです。楽しかったです。またいきたいです。



◇ 「ハイキング」

江南第3団
カブ隊 日比野哉士

今日、ボーイスカウトカブ隊のハイキングをしました。

一宮地いき文化広場でかつどうをしました。においを当てるゲームや木のあいだをはかるゲームをしました。

スカウトホームへ帰ってから、ユニクロメボーイスカウトなん民支援衣料回収プロジェクトに参加しました。アピタのユニクロへ古着をもって行きました。こまっている人のために少しでもやく立ててもらえるとうれしいです。



◇ 「1泊舎営」

日進第2団
カブ隊DL 柳内 浩子

こどもの成長は、日々接していると、なかなか気付かないもの。

自主性や、出来ればリーダーシップが身に付いて欲しい、と望んでスカウト活動に参加して9ヶ月あまり。

募金活動にハイク、そして毎回のセレモニー。久しぶりに会ったママ友から、「なんか、最近駿くん、しっかりしてきたね〜」とのコメント。

ホント? いや〜なんにも変わってないし〜と内心思う私。

そして、先日の龍谷寺での1泊舎営。食事をすませて、お寺の園長先生のお話を拝聴。

「みんな、これからは自分のことは自分でするんだよ! 何度も同じことを言われてはいけないよ。自分で決めるんだよ。」45分間、お話と座禅を少し。誰一人と無駄話せず。終わって息子が私のところへ。

「お母さん。僕、これからキチンとやるよ! 感動した!」

と、涙目で決意を語るのです。

息子の成長を実感し、こんな機会を与えてくれたスカウト活動の魅力に改めて再認識し2日間でした。



◇ 「和紙について触れた伝統工芸」

日進第2団
BS隊 山本彩加

私は伝統工芸の活動で和紙の原料や繊維がどのように作られているのかが分かりました。糊の代わりに使われているものも植物で驚きました。説明を聞いた後、団扇を作りました。スカウト一人一人柄が違って個性が出ていて面白かったです。このような経験は滅多に出来ないのだから活かしていきたいです。



◇ 「日本の文化を知れた伝統工芸」

日進第2団
BS隊 浅野拳斗

僕は、豊田市小原地区に和紙を作りに行きました。

和紙ってどうやって作るのかが疑問に思いましたが、作っていると昔から続く伝統を感じることができました。それも木の皮からできてるなんて考えられませんでした。

日本人は、昔から色々な物を使って生きてきました。それを見習い、僕も今後のスカウト活動に活かしていきたいです。



◇ 「ビーバー隊の田植え」

春日井第4団
ビーバー隊
青木正士

6月18日に春日井第4団ビーバー隊の『田植えの体験』がありました。天候が心配でしたが雨も降らず実施できました。はじめは泥におっかなびつくりのスカウトだったが、泥になれると、たんぼ風呂状態になりスカウトは大はしゃぎ。苗も上手に植えるようになりました。秋にはビーバースカウトで稲刈りをして、12月にはそのお米で『お餅つき大会』です。



【編集者より】

次号は、9月末原稿締め切り、10月発行予定です。

気候も暖かくなり、キャンプ等野外活動も多くなると思います、記事をお待ちしています。尚、投稿は常時受け付けています。